

学校評価について

令和 4 年度 学校評価規程第 10 条

1 教育理念・教育目的・教育目標

教育理念・目的は財団の理念である「地域住民の健康の増進と医療の充実」を基本にうたっている。教育目標へ到達できるようさらに教育の質の向上が課題である。

2 学校運営

昨年度より運営方針、事業計画など教務室及び事務室双方の意見を出し合い、よりよい事業になるように話し合いができるようになった。多忙な中でもより充実した看護教育が実践できるように取り組んでいるが、業務の効率化、ホームページの有効活用などまだ課題は多くある。

3 教育活動

教育目標を達成するための学内教員数の確保が困難な状況である。又、新カリキュラム初年度でもあったが、実践して見えてきたカリキュラムの問題点の見直しなども必要である。現行の活動に加えて、よりよい教育を行うために教職員の能力開発、人材育成、外部関係者からの評価が課題である。

4 学修成果

就職率は 100% であり、尼崎市内に約 35%、実習病院に約 65% が就職した。国家試験対策の個別指導を強化しており、看護師国家試験合格率は 95.6%（新卒全国平均 95.5%）であった。多くの卒業生が実習病院先へ就職しているため、安心した学習環境を提供できている。

5 学生支援

事業推進・改善計画アンケートでは教員間の情報共有不足や実習指導への要望があった。ICT システムなどを活用し教員の業務の効率化をはかり、学生指導における時間確保も必要である。また、就職支援の要望が増加しているため、今後は就職支援体制の改善が必要である。

6 教育環境

学生の意見を聞きながら対応しているが今後も安心・安全な環境での学習が確保できるように取り組んでいく。

7 学生の募集と受け入れ

尼崎市及び阪神南・北圏域高校への訪問や年間計画に沿って実施しているが、年々受験者数が減少し、令和 5 年度入学生は定員割れとなった。今後は学生募集活動をより強化するとともに、看護師国家試験合格率の上昇をめざす。

8 財務

財務情報の公開、監査など適切に行われているが公益事業として財務基盤が安定するように予算執行を確実に実施し、問題発生すれば適切に対応していく。

9 法令等の遵守

法令等の遵守については問題ないが、自己評価における課題への改善については段階的に取り組む必要がある

10 社会貢献・地域貢献・国際交流

本校としては弱いカテゴリーになっており、新カリキュラムにおいて園田地区を中心には地域への活動事業参加やボランティアなどを推進し強化していく。

カテゴリー別項目ごとの評価項目を、適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1として評価しカテゴリーごとの平均を示している

カテゴリー (領域)	項目 69	令和 4年	令和 3年	令和 2年	令和 元年	平成 30年	平成 25-29年
1 教育理念・教育目的・教育目標	8	3.4	3.5	3.3	3.5	3.3	3.7
2 学校運営	8	3.2	3.8	3.7	3.5	3.5	4
3 教育活動	14	3	3.4	3.2	3.2	3.3	3.5
4 学修成果	5	3	3.2	3.3	3.1	3	3.2
5 学生支援	12	3.5	3.3	3.3	3.1	3.2	3.5
6 教育環境	4	3.6	3	3	3	3	3.7
7 学生の募集と受け入れ	5	3.7	3	3	3.5	3.3	3.3
8 財務	4	3.3	4	4	4	3.5	4
9 法令等の遵守	4	3.3	3.2	3.2	3.5	3.2	3.5
10 社会貢献・地域貢献・国際交流	5	3.2	3.2	3	3.5	3.2	3.1
平均		3.3	3.4	3.3	3.4	3.3	3.6

